

生ワクチン(ビケン)の接種をご希望の方へ

ワクチンの副反応

带状疱疹の予防接種は、主に 50 歳以上の方が接種対象者となります。

50 歳以上の方に接種した場合、接種後の副反応として注射部位の局所症状(赤み、かゆみ、熱くなる、腫れ、痛み、硬くなる)、発疹、倦怠感などが報告されています。また非常にまれですが、アナフィラキシー(全身のかゆみ、じんま疹、喉のかゆみふらつき、動悸、息苦しいなど)や、血小板減少性紫斑病(鼻血、歯ぐきの出血、あおあざができる、出血が止まりにくいなど)無菌性髄膜炎(発熱、吐き気、頭痛、うなじがこわばり固くなって首を前に曲げにくいなど)がみられることがあります。何か異常が認められた場合には、すぐに医師に申し出てください。

予防接種を受けるときの注意

- (1)ワクチンの必要性や副反応について不明な点がある場合は、予防接種を受ける前に医師に相談しましょう
- (2)受ける前日は入浴(又はシャワー)をして、体を清潔にしましょう
- (3)当日は体調をよく観察して、普段と変わったところのないことを確認してください
- (4)清潔な着衣をつけましょう
- (5)予診票は医師への大切な情報です。正確に記入するようにしましょう
- (6)予防接種を受ける方が女性の場合、あらかじめ約 1 カ月間は避妊しておきましょう

予防接種を受けることができない方

- (1)明らかに発熱のある方(37.5℃以上)
- (2)重篤な急性疾患にかかっていることが明らかな方
- (3)水痘・带状疱疹を予防するワクチンに含まれる成分で、過去にアナフィラキシーを起こしたことがある方
なお、他の医薬品投与でアナフィラキシーを起こしたことがある方は、予防接種を受ける前に医師へその旨を伝え、判断を仰いでください
- (4)妊娠していることが明らかな方
- (5)先天性及び後天性免疫不全状態の方
例えば、急性及び慢性白血病、リンパ腫、骨髄やリンパ系に影響を与えるその他疾患、HIV 感染または AIDS による免疫抑制状態、細胞性免疫不全などによる
- (6)副腎皮質ステロイド剤や免疫抑制剤などの治療を受けており、明らかに免疫抑制状態の方
- (7)その他、医師が予防接種を受けることが不適当と判断した方

予防接種を受ける際に、医師とよく相談しなくてはならない方

- (1)心臓病、腎臓病、肝臓病や血液の病気などの基礎疾患がある方
- (2)カゼなどのひきはじめと思われる方
- (3)予防接種で接種後 2 日以内に発熱、発疹、じんましんなどのアレルギーを疑う症状がみられた方
- (4)薬の投与又は食事で皮膚に発疹が出たり、体に異常をきたしたことがある方
- (5)今までにけいれんを起こしたことがある方
- (6)過去に免疫不全と診断されたことがある方、及び近親者に先天性免疫不全の方がいる方
- (7)水痘・带状疱疹を予防するワクチンに含まれる成分でアレルギーを起こすおそれのある方
- (8)妊娠の可能性のある方

他のワクチンとの接種間隔

生ワクチン(注射剤)の接種を受けた方は、通常、27 日以上間隔をおいてこのワクチンを接種してください。また、医師が必要と認めた場合には、他のワクチンと同時に接種することができます。

予防接種を受けた後の注意

- (1)接種後 30 分間は病院にいるなどして様子を観察し、アレルギー反応などがあれば医師とすぐに連絡を取れるようにしておきましょう。
- (2)接種後 4 週間は副反応の出現に注意しましょう。
- (3)接種当日の入浴は差し支えありませんが、注射した部位をこすることはやめましょう。
- (4)接種当日は接種部位を清潔に保ち、いつもどおりの生活をしましょう。また、激しい運動や大量の飲酒は避けましょう。
- (5)高熱やけいれんなどの異常な症状が出た場合は、速やかに医師の診察を受けてください。
- (6)接種後 2 カ月間は妊娠しないように注意してください。

不活化ワクチン(シングリックス)の接種をご希望の方へ

ワクチンの効果と副反応

シングリックスは、50歳以上または、帯状疱疹に罹患するリスクが高いと考えられる18歳以上の方を対象とする帯状疱疹を予防するためのワクチンです。シングリックスの十分な予防効果を得るためには、2回の筋肉内注射が必要です。

主な副反応は、注射部位の痛み、赤み、腫れなど、全身症状として筋肉痛、疲労感、頭痛を伴うことがありますが、これらの持続日数の中央値※は3日でした。また、重大な副反応として、ショックやアナフィラキシー(通常接種後30分以内に出現する血圧低下、呼吸困難や全身性のじんましんを伴うアレルギー反応のこと)が起こる可能性があります。

※持続日数を小さい順に並べたデータのちょうど中央にある日数

予防接種を受けることができない方

- (1)明らかに発熱(通常37.5℃以上)している方
- (2)重い急性疾患にかかっていることが明らかな方
- (3)過去にこのワクチンの成分によってアナフィラキシー(通常接種後30分以内に出現する血圧低下、呼吸困難や全身性のじんましんを伴うアレルギー反応のこと)を起こしたことがある方
- (4)その他、医師が予防接種を受けることが不相当と判断した方

予防接種を受ける前に医師への相談が必要な方

- (1)心臓血管系・腎臓・肝臓・血液などの基礎疾患のある方
- (2)予防接種で接種後2日以内に発熱のみられた方、全身性発疹などのアレルギーを疑う症状がみられた方
- (3)このワクチンの成分に対して、アレルギーを起こすおそれのある方
- (4)過去にけいれんを起こしたことがある方
- (5)過去に免疫不全と診断された方、近親者に先天性免疫不全症の方がいる方
- (6)血小板が少ない方や出血しやすい方
- (7)妊婦または妊娠している可能性のある方、授乳中の方
- (8)最近1カ月以内に予防接種を受けた方

接種後の注意

- (1)接種後にアナフィラキシーが起こることがあるので、接種後30分程度は、接種施設で背もたれのある椅子にゆっくり腰かけて、体調の変化がないことを確認しましょう。
- (2)接種当日は激しい運動を避け、接種部位を清潔に保ってください。接種当日の入浴は差し支えありません。
- (3)接種後に接種部位の異常な反応や体調の変化を感じた場合、高熱、けいれんなどの異常な症状があらわれた場合にはすぐに医師の診察を受けてください。
- (4)本剤の接種により健康被害が発生した場合には「医薬品副作用被害救済制度」により治療費等が支給される場合があります。詳しくは独立行政法人医薬品医療機器総合機構のホームページ等をご覧ください。